

謹賀新年



情報発信と市民参加で
市民に身近な議会に

甲賀市議会議長 橋本 恒典

新年あけましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申しあげます。昨年、議員間討議や委員会代表質問の形も整え、今後は委員会中継や広報広聴活動の充実にも取り組んでいく予定です。情報発信と市民との対話により市議会を皆様にも身近に感じていただくとともに、課題発見から意思決定に至るまでの政策形成過程が見える形となるよう努めてまいります。

甲賀市には美しい自然や里山、歴史や文化が数多くあります。また、旧東海道や国道1号、新名神高速道路が時代を超えて人やものを運んでいる交通の要衝でもあります。新名神高速道路の全線開通や6車線化とともに、名神名阪連絡道路が実現すれば甲賀市の持つ可能性はさらに広がります。

また今年、コロナ禍により延期となっています東京2020オリンピック・パラリンピックの開催も予定されており、甲賀市はシンガポールパラリンピック選手団のホストタウンになります。翌年には第72回全国植樹祭が甲賀市で開催されます。これらのビッグイベントが地域の活性化につながるよう、二元代表制の一翼を担う市議会として、責任と役割を果たす所存ですので、今年も一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、市民の皆様のご健勝とご多幸を議員一同、心からご祈念申し上げ新年のごあいさついたします。



「新しい豊かさ」を追求する
まちづくりを皆様と共に

甲賀市長 岩永 裕貴

新年あけましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申しあげます。昨年の市長選挙の結果、引き続き市政を担わせていただくこととなり、改めてその重責に身の引き締まる思いであります。初心に帰り全身全霊を込めて市政運営に取り組んでまいります。

2期目の4年間は、まずは新型コロナウイルス感染症対策に引き続き注力し、市民皆様の健康と生活を守り、地域経済の速やかな回復に向け、さらに緊張感とスピード感をもって取り組む所存であります。

そのうえで、これまでより進めてきた人口減少対策に結びつく移住・定住施策や公共交通の利便性向上、交通インフラ等を活用した地域活性化をはじめ、将来を見据えた公共施設の適正配置や幼保・小中学校の再編をはじめ教育の充実等にさらに力を入れて取り組むとともに、市民の皆様にお約束しました政策集に掲げた20分野135項目の施策・事業の着実な進捗を図ってまいります。

豊かな自然が残る本市は、道路など社会インフラが充実し都市部へのアクセスも利便性が高く、長い歴史や風土が育んだ、地域の絆、豊かな文化芸術や産業、特産品などの豊かな地域資源に恵まれています。

図らずも今般のコロナ禍により、人のつながりや自然と触れ合うこと、また、自己を表現することなどの大切さに多くの方が気づかれたことと思います。

このことから今後のまちづくりでは、本市の擁する豊かな地域資源を活かし、市民皆様にとつて多様な価値観を認め合い、便利でゆたかりとした暮らしができるなど「新しい豊かさ」の視点を全ての事業に反映して実施するとしております。

第2次甲賀市総合計画を軌道に乗せ「いつもの暮らしにしあわせを感じるまち」の実現に向け、全力で取り組む覚悟ですので、引き続き新型コロナウイルス感染症対策へのご理解をはじめ一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本年が、皆様にとりまして明るく希望に満ちた年になるよう努めることをお誓いすると共に、ご健勝とご多幸をお祈り申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。